



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月14日

上場会社名 中央ビルト工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1971 URL <http://www.chuo-build.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 安秀  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 石井 裕 (TEL) 03-3661-9631  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,935	△13.4	407	20.7	390	26.6	218	24.2
25年3月期第3四半期	5,702	△3.3	337	95.8	308	274.3	175	786.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年3月期第3四半期	10.65		—					
25年3月期第3四半期	8.57		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,465	2,774	32.8
25年3月期	7,967	2,606	32.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,774百万円 25年3月期 2,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,310	0.0	561	27.8	505	25.3	253	△21.5	12.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	20,687,400株	25年3月期	20,687,400株
26年3月期3Q	216,996株	25年3月期	194,562株
26年3月期3Q	20,477,839株	25年3月期3Q	20,508,988株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了している。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がある。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済対策や日銀の金融緩和策を背景に円安・株高が進行し、輸出企業を中心に企業収益が幅広く改善するとともに、個人消費の持ち直しもあり緩やかに回復しつつある。

当社の主な関連業界である建設及び住宅業界においては、公共投資は復興工事を中心に堅調に推移し、民間投資も消費税増税前の駆け込み需要等により、建設投資は緩やかな回復基調を維持しているが、一方では建設資材及び建設労働者の不足に伴う建設コストの高騰や工事の遅延、着工遅れ等が顕在化してきている。

このような状況の中、当社は仮設関連の旺盛な需要に応えるべく、保有機材の補充や供給に努めたが、開発営業の鉄骨部材製造受託減少をカバーするには至らず、当第3四半期累計期間の業績は、売上高49億3千5百万円（前年同四半期比13.4%減）と減収となった。

利益面においては、減少した売上の収益率が低かったことに加え、自社製品販売が前期を上回ったため、営業利益4億7百万円（前年同四半期比20.7%増）、経常利益3億9千万円（前年同四半期比26.6%増）、四半期純利益2億1千8百万円（前年同四半期比24.2%増）となった。

セグメントの状況は次のとおりである。

なお、第1四半期会計期間より、報告セグメントの名称を「鉄構開発営業」から「開発営業」へ変更している。当該変更については、名称変更のみであり、セグメント区分の変更はない。

## ① 仮設機材販売

震災復興需要等による軽仮設機材の品薄感から、仮設機材リース業者の安全機材への購買意欲は堅調で、仕入商品販売は伸び悩んだものの、主力製品の出荷増等により、売上高は16億7千2百万円（前年同四半期比2.2%増）と増収となった。セグメント利益（営業利益）は1億2千6百万円（前年同四半期比21.4%増）と増益となった。

## ② 仮設機材賃貸

震災復興工事や社会インフラ整備を中心とする補修・改修工事の需要により、軽仮設機材の稼働は高水準を維持している。当社では、港湾土木の大型物件が減少したものの、機材センターの拡張や保有機材の拡充に努めた結果、売上高は21億3千4百万円（前年同四半期比1.3%増）と増収となった。また借入機材の支払賃借料や減価償却費の減少もあり、セグメント利益（営業利益）は3億3千1百万円（前年同四半期比11.8%増）と増益となった。

## ③ 開発営業

旭化成ホームズ株式会社からの鉄骨部材製造受託の内、主力製品が前期にて受託製造終了したことにより、売上高は11億2千8百万円（前年同四半期比42.3%減）と大幅な減収となった。これに対し利益面では、新規案件の取込や生産工程の見直しによるコスト削減等を図った結果、セグメント損失（営業損失）は4千4百万円（前年同四半期はセグメント損失5千6百万円）と増益となった。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は84億6千5百万円となり、前事業年度末に比べ4億9千8百万円増加した。これは主に、資産については現金預金が1億2千1百万円、受取手形が2億5千2百万円増加したこと、負債については支払手形が1億2千4百万円、短期借入金が2億円増加したことによるものである。

純資産合計は四半期純利益2億1千8百万円等により前事業年度末の26億6百万円から1億6千7百万円増加して27億7千4百万円となり、自己資本比率は32.8%となった。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想については、平成25年10月25日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりである。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示するものとする。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項なし。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項なし。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項なし。

1 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	826	947
受取手形	※2 500	※2 753
売掛金	1,142	1,051
製品	408	419
仕掛品	191	231
原材料及び貯蔵品	338	409
繰延税金資産	25	3
未収入金	※1 155	※1 120
その他	11	14
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	3,600	3,951
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,883	1,886
減価償却累計額	△1,588	△1,607
建物(純額)	294	278
構築物	613	616
減価償却累計額	△572	△578
構築物(純額)	40	38
機械及び装置	1,992	1,987
減価償却累計額	△1,917	△1,911
機械及び装置(純額)	74	76
貸与資産	8,991	9,141
減価償却累計額	△8,429	△8,509
貸与資産(純額)	562	631
車両運搬具	97	82
減価償却累計額	△97	△82
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	265	270
減価償却累計額	△262	△265
工具、器具及び備品(純額)	3	4
土地	3,177	3,177
リース資産	132	240
減価償却累計額	△70	△96
リース資産(純額)	61	144
有形固定資産合計	4,214	4,352
無形固定資産	1	2

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	31	37
繰延税金資産	26	29
その他	95	96
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	149	159
固定資産合計	4,366	4,513
資産合計	7,967	8,465
負債の部		
流動負債		
支払手形	※2 850	※2 975
買掛金	505	460
短期借入金	1,900	2,100
1年内返済予定の長期借入金	280	340
未払法人税等	165	56
賞与引当金	25	—
役員賞与引当金	21	13
その他	299	348
流動負債合計	4,048	4,294
固定負債		
長期借入金	1,098	1,112
退職給付引当金	85	94
役員退職慰労引当金	69	64
その他	58	125
固定負債合計	1,311	1,396
負債合計	5,360	5,690
純資産の部		
株主資本		
資本金	275	275
資本剰余金	526	526
利益剰余金	1,816	1,983
自己株式	△18	△21
株主資本合計	2,599	2,764
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6	10
評価・換算差額等合計	6	10
純資産合計	2,606	2,774
負債純資産合計	7,967	8,465

(2) 【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	5,702	4,935
売上原価	4,610	3,786
売上総利益	1,091	1,148
販売費及び一般管理費	753	741
営業利益	337	407
営業外収益		
受取利息	3	0
受取配当金	1	1
受取地代家賃	3	3
雑収入	2	6
営業外収益合計	10	12
営業外費用		
支払利息	33	24
雑支出	6	4
営業外費用合計	40	29
経常利益	308	390
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
臨時損失	—	※ 17
特別損失合計	—	17
税引前四半期純利益	308	373
法人税、住民税及び事業税	127	138
法人税等調整額	4	16
法人税等合計	132	155
四半期純利益	175	218



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)  
該当事項なし。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)  
該当事項なし。